

NEWS RELEASE

www.jogmec.go.jp



独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構

問合せ先： 事業推進部 本橋、萱場 TEL:03-6758-8023
 広報担当： 総務部広報課 乾 TEL:03-6758-8106

インドネシア共和国タンゲーLNG プロジェクトの拡張開発事業 第 3 系列 LNG 液化施設建設事業への債務保証について

JOGMEC(本部：東京都港区、理事長：黒木啓介)は、日石ペラウ石油開発株式会社(代表取締役社長：和佐田演慎氏)、ケージーペラウ石油開発株式会社(代表取締役社長：山口賢一郎氏)、ケージーウィリアム石油開発株式会社(代表取締役社長：山口賢一郎氏)の3社がインドネシア共和国パプア州において進めている天然ガスの生産および液化事業(以下、「タンゲーLNG プロジェクト」)の拡張開発事業の一環である第 3 系列 LNG 液化施設建設事業を債務保証対象事業として採択し、8 月 3 日に債務保証関連契約を締結しました。

上記 3 社は、BP がオペレーターであるタンゲーLNG プロジェクトに合計 22.23%の権益を有しています。当該プロジェクトでは、平成 17 年 3 月の開発段階への移行後、平成 21 年 6 月にヴォルワタガス田からの天然ガスによる LNG 生産を開始し、我が国にも LNG が供給されています。

今般の拡張開発事業は、現在年間 760 万トンを生産している液化施設 2 系列に、年間 380 万トンの生産能力を有する第 3 系列を増設するもので、2020 年中の生産開始を目指します。また、液化施設に加え、2 つの海上プラットフォーム、LNG 運搬船用の棧橋の新設および合計 13 坑の生産井の掘削等も予定しており、2016 年 7 月 1 日にパートナー間で最終投資決定(FID)がなされました。

JOGMEC は、これまで探鉱段階から 3 社への出資を開始し、平成 18 年 6 月以降は債務保証を通じて第 1, 2 系列による LNG プロジェクト実現に向けた支援を行ってきました。第 3 系列建設事業への新たな債務保証支援は、我が国への LNG 安定供給への一層の貢献が見込まれ、我が国のエネルギーセキュリティ上の大きな効果が期待されます。

■債務保証先会社の概要

名称	日石ペラウ石油開発株式会社	ケージーペラウ石油開発株式会社	ケージーウィリアム石油開発株式会社
設立	平成2年4月13日	平成7年5月2日	平成5年12月1日
本社所在地	東京	東京	東京
社長	和佐田演慎氏	山口賢一郎氏	山口賢一郎氏
資本金	11,509百万円	7,035百万円	3,177百万円
株主構成	JX石油開発：51.0% JOGMEC：49.0%	JOGMEC：49.2% 三井物産：20.1% MIペラウジャパン：16.5% JX石油開発：14.2%	JOGMEC：59.9% 三井物産：40.1%

■タングーLNGプロジェクト参加権益保有者

プロジェクトの権益構成は、BP社 37.16%、MI Berau 16.3%(三菱商事株式会社、国際石油開発帝石株式会社)、中国海洋石油総公司(CNOOC)13.9%、日石ベラウ石油開発 12.23%(JX石油開発株式会社、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構)、ケージーベラウ石油開発 8.56%(独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構、三井物産株式会社、JX石油開発株式会社、三菱商事株式会社、国際石油開発帝石株式会社)、エルエヌジージャパン株式会社 7.35%(住友商事株式会社と双日株式会社の折半出資会社)、タリスマンウィリアガール社 3.06%、ケージーウィリアガール石油開発 1.44%(独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構、三井物産株式会社)となっております。

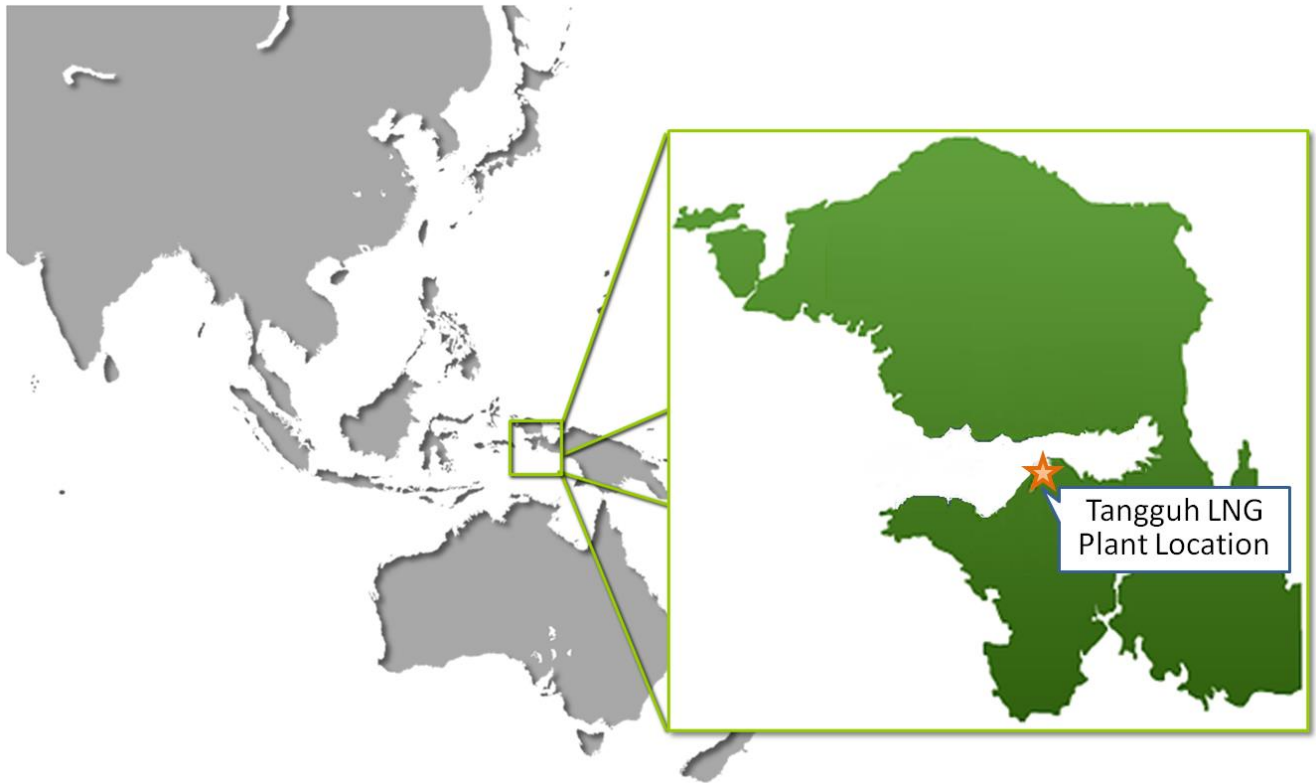
■採択の内容

1) 採択年月日:平成28年6月29日

2) 保証見込額:4.16億米ドル(3社合計額)

3) 採択理由: 本事業については、①技術的事項、②経済的事項、③政策的事項、④事業実施関連事項等の観点から構成されるJOGMECの採択審査基準を満たすと判断されることから、債務保証対象事業として採択することとした。なお、本件の採択に際しては、経済産業大臣と協議し、同意を得ている。

■鉱区位置図



以上